

ふるさと奥尻通信

平成25年12月27日
奥尻町教育委員会発行
事務局:01397-2-3890

海洋研修センターと稲穂ふれあい研修センターにて無料配布しています。奥尻町役場ホームページからもダウンロードできます。

巻頭語

気がつけば本年も終わろうとしております。皆様、どのような1年でしたでしょうか。喜んだ人、笑った人、泣いた人、怒ったひと、喜怒哀楽があったことでしょうかね。私の場合はですね…。

特集 学芸員の写真でふりかえる2013年

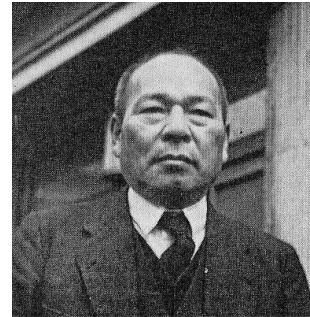
<p>1月 冬の味覚に舌つづみ</p>  <p>冬の魚は美味しい！タチはいいねえ。</p>	<p>2月 贈り物にうれしさ</p>  <p>元奥尻駐在所長の塩澤さんがクリオネをくれました</p>	<p>3月 島にも変化が？</p>  <p>島内でもスマホがだいぶ普及してきました。電波塔も増えましたのでサクッと高速通信も可能です。</p>
<p>活きの良いゴッコは拾って汁物にします。</p> 	<p>バレンタイン、チョコで悲喜交々あったかな？</p> 	<p>雪多かったですねえ。窓がすっぽり隠れてしまうほど降りました。気候変動の現れか？雪はイヤイヤ。</p> 
<p>4月 別れもあれば出会いも</p>  <p>サヨナラの紙テープが舞う光景。涙涙。</p>	<p>5月 春の魚たち</p>  <p>青空、大海、新緑に映える鯉のぼり。今にも泳ぎ出しそう。島の子供らよ、まっすぐに大きく育てよー。</p>	<p>6月 新しい風がふく</p>  <p>巡視船「おくり」が新造され、入港しました。</p>
<p>野山に最初の恵みが芽吹きます。キトビロ。</p> 	<p>春のホッケ漁。久々に青苗港が活気づいていた。やはり島にはホッケが似合う。今後の大漁祈願します。</p> 	<p>函館の写真師谷杉アキラさんが来島。</p> 
<p>7月 やっぱ奥尻の魅力は海の幸！</p>  <p>ひやま漁協青年部がイワガキの商品化に取り組んでいます。まだ始まったばかりですが乞うご期待！</p>	<p>8月 日本の夏、奥尻の夏</p>  <p>山車引っ張って、踊って飲んで、やかん酒。</p>	<p>9月 芸術の秋を堪能</p>  <p>久々に移動美術館来島。1億円の絵画が！</p>
<p>BBQ最高。サクラガイ(アオヤギ)、ホタテ、そしてイカ。これにアワビを買えば、さらに楽しい。</p> 	<p>観光協会タイアップの勾玉づくり好評でした。</p> 	<p>あすか組の和太鼓公演。黄色い歓声に沸く。</p> 
<p>10月 教育旅行誘致へ</p>  <p>西海岸の落陽。島に秋の気配が。</p>	<p>11月 今年も食欲の秋が来た。</p>  <p>文化祭でせんべい焼き復活。ついでにイモとイカを焼いて見たら大好評。</p>	<p>12月 島の魚たち</p>  <p>物産展で島の水産物を全国の食卓へ。</p>
<p>函館ラサールが避難所体験。200名雑魚寝。</p> 	<p>秋の釣り。屏風立岩では54cmのクロゾイがあがる。投げ釣りでは珍しいサイズ！島の釣りは豪快に。</p> 	<p>冬の屏風立岩。未知の大物を求めてまた来年です。</p> 

この日、東京朝日新聞社本社講堂において、同社主催、陸軍省後援の優良壮丁町村表彰式が挙行され、奥尻村(当時)は、全国特選の10カ村の一つとして表彰されました。他の町村には、島根県大蘆村(現 松江市)、鳥取県浦富町(現 岩美町)などがあり、奥尻は遠方のために欠席であったところ、奥尻地区の商業、玉井謹三郎が村長代理として馳せ参じました。



表彰の様子 『東京朝日新聞』昭和9年3月11日

そもそも、この「優良壮丁」の町村というのは、全国各地の町村がどれだけの健康で丈夫な男子を輩出し、彼らが有能な兵士となっているかを見比べたものでした。戦中まで、日本の男性は総じて軍人となる可能性がある、「国民皆兵」が原則でした。そのため、全国の役場に兵事係という部署があり、その年の徴兵検査に該当する20歳(昭和18年以降19歳)男子をリストアップし、地元で検査を受けさせた上で、派遣された徴兵官が適格か不適格かを判定していました。学力検査はなく、身長が152cm以上、健康で、近視乱視、扁平足など身体上の不具合がないかが問われました。判定は「甲・乙・丙・丁・戊」の5段階あり、「甲」判定が一家の誉れ、不適格者は、家族を含めて肩身の狭い思いをしました。



出席した玉井謹三郎氏

また、この3月10日という日付は、明治38年(1905)の日露戦争で日本軍が奉天会戦に勝利し、同地(現 中国瀋陽)に入場したことを記念する、陸軍の戦勝を祝う日でした。奥尻村の徴兵成績が良いということは、結果的に多くの兵士を部隊や戦地に送り出したことになり、奥尻遺族会建立の墓誌によれば、117名の犠牲があったとされています。出世して除隊した人もいれば、「護国の御霊」として祀られた人も大勢いたりました。

月刊 奥尻のつり 12月号

寒い季節には温かい鍋が食べたくなりますね。そんな訳で今月はカジカのお話。“鍋こわし”の別名がある北国を代表する魚です。カジカにも種類がありまして、釣れるものではトゲカジカ(別名:ナベコワシ)、ギスカジカ(別名:棲黒鰻)、トウベツカジカなどがいます。トウベツは奥尻では釣れないと言われています。トゲとギスはなかなか見分けが付かないのですが、トゲの第一背びれは三角形でとがり、ギスの背びれは台形型をしています。カジカは岩礁の色に合わせて体の色が変わる魚ですが、その変化の具合は様々あり、詳しくは説明されていないそうです。奥尻の磯では、ギスが多く釣れるように思います。味は、鍋こわしの名前の通り、トゲが一番美味しいんだとか。エサはイカゴロが一番です。さて釣りの準備しよ。

昭和奥尻生活詩 12回

奥尻郡釣石尋常高等小学校一年生「詩集・海に生きる」より

午潮か赤一お上白やき ほつ
後をついおつかいあら つけ
のひば大いおてら腹光り
暖つみきたつ来次のつ
いかたなこどるかほと
一陽けいただこぞらつけ
二だたにこ三とけだ
、あの十だよ
一ば奴だぞ
れるぞ

板谷 俊雄

重いとし一れ十金八催が全
要筆がた六ま点賞九を、町毎
で順少。九し、九点終今児年
すとな文名た佳点のえ年童恒
ね字く字の。作、作まも生例
。画なを観六二銀品し三徒と
をる手覧日十賞がた十書な
習昨書者間一九出。五道っ
う今きがの点点品今回展て
書、すあ会が、さ年目でい
道正るり期選銅れはのする
はしこまにば賞、一開、

書道展無事に終了



完成作品

たうにはりたのなでさみ本験催
。こす、ま。芸材もんま格会に先日、
とる花し二術料色をしの的がよ、
が工をた〇作をあ講たな行る
重程並がcm品用せ師。作わ押奥
要をべ、大をいなに稲品れし尻
と丁て長の完てい迎穂づ、花町
の寧真持額成、とえ地く十づ文
こに空ち縁さ思い、区り名く化
とおパのをせいういの高樂り会
でこッ秘つま思特つ高樂り会
しなク訣くしい殊ま橋しが体主

楽しく押し花アート

平成25年も終わりますね。平成の代ももう四半世紀経ったとは、昭和も遠くなりにはけり。私も学問というものをかじり始めて25年です。なかなかモノにならないのは努力が足りないせいとか？釣りのしすぎか？先日のおみくじは、願望「ととのう。しかし色情につき妨げ起こる」、学問「努力すればよろし」、恋愛「よく見定めて進め」だそうです。悩みますなあ…。

新米之記録(編集後記)

うて地で先学夏を犠人津一節
、かいと校場目牲に波年目本
奥活らましのの的者到館五の年
尻躍のすて防観との達の月年は
震す情。も災光し慰し入にで奥
災る報こ頻教客た霊ま館開し尻
忘こ発れ繁育は施とし者館た震
ると信かにのも設記たがしが災
までのら利場とで憶。二た、二
じし場も用やよすの同十奥二〇
よと被さ視りが継館五尻〇年
し災れ察、承は万島〇の

津波館の入館者二十五万人



奥尻市街地 昭和40年代中頃